

第3回 豊明市文化財保護委員会会議録

日 時：令和3年3月25日（木）午前10時00分～12時00分

場 所：豊明市役所分庁舎2階 会議室1

出席者：佐野委員、近藤委員、三浦委員、相場委員、鈴木委員、岡村委員、永井委員

事務局：小串教育部長、深草生涯学習課長、神谷課長補佐、岸田主査、鬼頭社会教育指導員

傍聴人：なし

1 委員長あいさつ

2 協議事項

(1) 令和3年度 文化財保護委員会事業計画について

- ・県外視察については、状況を見て判断させて頂く。
- ・イシモチソウと大狭間湿地の同時公開を2回に分けて実施する。例年どおり1回目の公開時のみマイクロバスを出すことを考えているが、コロナ対策として三密を避けることを考慮して進めていく。なおイシモチソウ自生保護地の植生について月に1回の調査を行っている。

(2) 令和3年度 大狭間湿地保全計画の承認について

(三浦委員)

- ・保全整備委託を結ぶ豊明自然観察会からの保全計画書が提出され、承認された。イシモチソウとの同時公開を2回に分けて開催する。例年どおり10月にも一般公開し、季節限定の花を見学できる機会をつくる。

(3) 歴史民俗資料室整備について

(事務局)

- ・教室の割り振りについて

入口については、シャッターを設置する。

A室：カウンターを設置、展示ができる壁面を増設、教室の黒板やロッカーは残す予定。

B室：展示台を3つ設置し、その上に資料を置く。

C室：桶狭間に特化した展示を考えている。展示台を3つ設置する予定。

なお、収蔵庫については、教室に廊下をプラスしたスペースで考えている。民具や土器を収蔵する予定、その他、屋外のスペースの利用についても考えている。

6～7月に歴史民俗資料室の移転作業を考えている。来年4月オープンにむけて準備を進めていく。

(委員)

- ・避難経路の確認を、非常口が明確にわかるようにしてほしい。

(事務局)

- ・ABCの各室の南口に開き戸を設置し、避難経路にする計画である。

(委員)

- ・避難経路については、消防法に沿って考えているが戸が閉まって逃げられなくな

らないようにする必要がある。

(委員)

・トイレは今までのものを使うのか。

(事務局)

・トイレも改修し、乾式のものにさせていただいた。

(委員)

・生物多様性の保全について、環境省から OECMs (生物多様性の保全に貢献している保護区以外の地域) について問い合わせがあるかもしれない。立候補をするとよい。

(委員)

・展示台の具体案はどのようなものを考えているのか。

(事務局)

・高さ約 66cm × 幅 60cm × 長さ 480cm のものを 3 つ設置する予定。なお、展示台の上に透明なケースを乗せるイメージを考えている。

(委員)

・予算化はなされているのか。

(事務局)

・展示ケース等備品については 9 月に補正予算として上げていく。

(委員)

・展示内容は決定しているのか。

(事務局)

・5月の会にて提示したい。

(委員)

・引っ越しの段取りはどうなのか。

(事務局)

・まず、民具、土器を収蔵庫に収めたい。また、展示するものを整備していきたい。

(委員)

・搬送業者について、引っ越し作業はだれがやるのか。

(事務局)

・引っ越し作業は業者がやる。運搬に使う段ボールも業者が用意する。分野ごとに分類し、必要と不要に分別し、新しい資料室に移動する。(不要なものは防災倉庫に運搬する)

(委員)

・作業をする歴民の人がやりやすいように、4月中旬には、搬送用の箱だけでも早くほしい梱包は歴民の人でやってもらい、それを業者に搬送してもらおうとよい。

(委員)

・他から収蔵物を借りることで、展示が充実する。

(委員)

・学芸員の資格を持った人が常駐することで、収蔵物の交換が容易になる。

(委員)

・理科室の収蔵物は必要なものと不要なものが混在している。理科室においてある収蔵物はどうするのか。

(事務局)

・理科室の収蔵物は分散させて保管していく。

(委員)

・資料が破損したり紛失が起こりやすいので、業者にはくれぐれも取り扱いについて注意を促したほうがよい。

(委員)

- ・屋外倉庫はどのようなものを考えているのか。

(事務局)

- ・倉庫を4つ設置する。なお、コンクリート倉庫を1つ準備する。
展示によく使用する収蔵物は屋内の収蔵庫に入れる予定

(委員)

- ・現地視察を考えているのか。

(事務局)

- ・工事の進捗状況によるので担当部署に確認し、どこかの機会で見させていただくように調整させていただく。

(委員)

- ・AからCに収納スペースがあるのか。

(事務局)

- ・Aの資料室南端のスペースは、収納スペースがある。BとCは収納スペースがない。

(委員)

- ・資料は何を取り上げる予定か。収納場所の明確化をしてほしい。次回の委員会までにできるのか。

(事務局)

- ・次回の委員会にて提示する。

3 その他

○令和3年度歴民企画展について

(委員)

- ・歴民資料室企画展は、資料室が工事中のため使用できない。図書館で11月中に開催を予定する。内容は「伊藤両村 part 2 (第2弾)」を考えている。郷土の発展に尽力した人の業績を中心に郷土に焦点をあてた展示を考えている。

○令和3年度広報特別号掲載記事について

(事務局説明)

- ・相場委員が伊藤両村についての記事を執筆する。

(委員)

- ・一之御前安産水の行事(安産水祭)を3月に行った。
安産水祭に雨が降った後に水が出てきた。

○三浦委員の退会について

(三浦委員)

- ・26年間、文化財保護委員を務めさせていただいた。大狭間湿地保全が市の指定を受けたことがうれしかった。ボランティアで保護活動をしているが、皆さんの協力を今後も受けたい。また、域内には絶滅危惧種が15種くらいおり、何としても残していきたい。昭和の初めの豊明の産業の様子がわかる徳田にある「タバコ乾燥室」があり、今後も残したい。また、古文書も各区に保管されている。区で保管していたものが、紛失する場合がある。区で大切に保管していたものが、区長が変わり関心のない場合に、ゴミとして捨てられることがある。代が変わると希少なものという認識がなくなってしまう。耐火書庫のようなものを市が作り、そこに古文書等を集め収蔵してほしい

い。勅使池に昔生息したヒメタイコウチやウキシバは見られない。環境影響評価により他地区から持ち込まない取り決めをしたが、誰かが勝手にソメイヨシノを植えてしまった。自然をそのまま生かし、在来生物が生きる公園として残してほしい。文化財を次世代にしっかりとバトンタッチしてほしい。次世代に残したいものを守っていくのが文化財保護委員の仕事だと考えている。大変お世話になりました。

(事務局 小串部長)

- ・本年度で教育部長を退任することになった。次世代に残せるものは残すことを行政として取り組みたい。

次回文化財保護委員会 令和3年5月 日 ()